

ひがしいはくらしんしやうあん
東岩蔵真性院は神明宮左の山上にあり、本尊は十一面観音を安置す。むかし王城の四方に経王を蔵らる、其石蔵

の二ツなり。「初めは伽藍嚴重たり、応仁の乱に回祿して今纔に遺りて小堂あり、是より十町許り山中に大日堂不動瀧あり、毎歳六月廿八日千日詣とて群参す。此所は安井御門跡の領にして、当山の土は陶工に可なり、粟田焼清水坂の土器等此地の土を用ふ」